

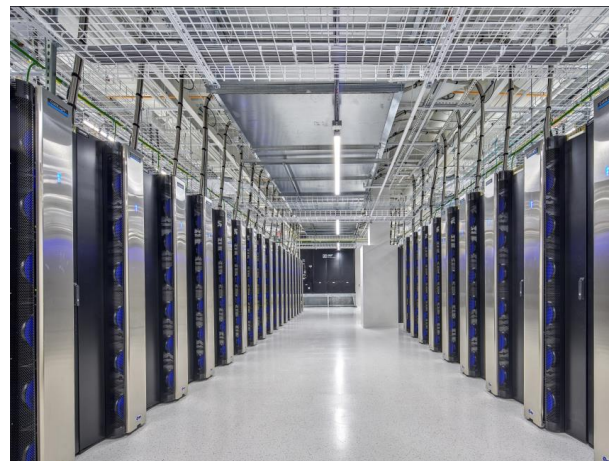
2024 年8月2日

DigitalBridgeが運用するデジタルインフラ特化型ファンドへの投資 ～データセンターや通信タワーなどの成長領域への投資を通じた運用収益力の強化～

第一生命保険株式会社(代表取締役社長:隅野俊亮、以下「当社」)は、DigitalBridge Investment Management, LLC(以下「DigitalBridge」)が運用するデジタルインフラ特化型ファンドに 40 百万米ドル(約 65 億円)の投資を実施しましたので、お知らせします。

本ファンドは、主に米国・欧州や日本を含むアジアにおけるデータセンター、通信タワー、ファイバーを主要な投資対象とし、プロジェクト開発、プラットフォームの構築を通じて情報社会における重要な基盤提供とキャピタルゲインの獲得を目指しています。また、本ファンドの運用者である DigitalBridge は、デジタルインフラ領域において深い知見と運用資産残高 800 億ドル¹に上る豊富な実績を有しており、優良な投資機会の発掘及びアクティブマネジメントを通じた収益力の向上が期待されます。

近年、デジタル技術の発達と普及により、企業活動や人々の暮らしの利便性は向上し、社会のデジタル化は更に加速しています。こうした中、高速・大容量の通信を実現する5Gの普及もあり、膨大なデータ計算を必要とする生成AIの更なる活用、リアルタイム性が求められる遠隔診療や自動運転をはじめ、多くの産業におけるIoT化の一層の進展なども予想されます。次世代のデジタル社会を実現するためには、本ファンドが投資対象とする、ビッグデータの処理やデータ伝送の低遅延を可能とするデジタルインフラ構築の必要性はますます高まっていくものと考えます。



写真提供: DigitalBridge

本ファンドへの投資は、当社として初めてのデジタルインフラセクターに特化したファンド投資であり、投資を通じて次世代のデジタル社会実現に欠かせない基盤の提供に貢献しながら、高い収益性を確保することを企図しています。当社は、今後も成長領域を見極めながら、特定のセクターに特化したファンドへの投資を含む投資戦略や運用手法の高度化・多様化に取り組むことで、資産運用収益の向上に努めてまいります。

【本ファンドの概要】

ファンド名称	DigitalBridge Partners III, LP
運用会社	DigitalBridge Investment Management, LLC
投資対象	主に米国・欧州・アジアにおけるデータセンター、通信タワー、ファイバーなどのデジタルインフラ資産
当社投資額	40 百万米ドル(約 65 億円)

¹ 2024 年3月31日時点